

# 平成 30 年度

## 1 級 ・ 2 級 舗 装 施 工 管 理 技 術 者 資 格 試 験 の ご 案 内

標記資格試験を下記のとおり実施します。

一般社団法人 日本道路建設業協会

### 1. 試験実施概要

	1 級	2 級
試験日	平成 30 年 6 月 24 日 (日)	
試験地	札幌、仙台、東京、新潟、名古屋、大阪、広島、高松、福岡、那覇	
受験手数料 (すべて税込)	15,000 円 (応用試験のみの場合は、7,500 円)	8,000 円 (応用試験のみの場合は、4,000 円)
申込受付期間	平成 30 年 2 月 9 日 (金)～平成 30 年 2 月 23 日 (金) 締切日の消印有効	
合格発表日	平成 30 年 10 月 24 日 (水) 午前 10 時頃	

### 2. 受験資格

次表に示す区分①、②、③、④、⑤のいずれかに該当する方が受験できます。

次表の実務経験の必要年数は、卒業後のものです。

学 歴 ま た は 取 得 資 格 等		舗装施工管理に関する実務経験の必要年数 等					
		1 級試験			2 級試験		
		区分	指定学科	指定学科以外	区分	指定学科	指定学科以外
大 学 卒 業 者		①	3 年以上 (1 年)	4 年 6 ヶ月以上 (1 年)	①	1 年以上	1 年 6 ヶ月以上
短期大学または高等専門学校(5 年制) 卒業 者			5 年以上 (1 年)	6 年 6 ヶ月以上 (1 年)		2 年以上	3 年以上
高 等 学 校 卒 業 者			8 年以上 (1 年)	11 年 6 ヶ月以上 (1 年)		3 年以上	4 年 6 ヶ月以上
そ の 他 の 者			15 年以上(1 年)			8 年以上	
技 術 士 ( 建 設 部 門 ) 二 次 試 験 合 格 者 1 級 土 木 施 工 管 理 技 術 検 定 合 格 者 1 級 建 設 機 械 施 工 技 術 検 定 合 格 者		②	(1 年)		②	実務経験を有すること ただし、年数は問わな い	
2 級 舗 装 施 工 管 理 技 術 者 資 格 試 験 2 級 土 木 施 工 管 理 技 術 検 定 2 級 建 設 機 械 施 工 技 術 検 定 の 合 格 者	大 学 卒 業 者	③	/	3 年 6 ヶ月以上 (1 年)			
	短 期 大 学 ま た は 高 等 専 門 学 校 ( 5 年 制 ) 卒 業 者		/	6 年 以上 (1 年)			
	高 等 学 校 卒 業 者		7 年 以上 (1 年)	8 年 6 ヶ月以上 (1 年)			
	そ の 他 の 者		12 年以上(1 年)				
専 任 の 主 任 技 術 者 の 実 務 経 験 が 1 年 以 上 有 る 者	大 学 卒 業 者	④	/	3 年 以上	/		
	短 期 大 学 ま た は 高 等 専 門 学 校 ( 5 年 制 ) 卒 業 者		/	5 年 以上			
	高 等 学 校 卒 業 者		/	8 年 以上			
	そ の 他 の 者		11 年 6 ヶ月以上				
	上 記 以 外 の 者 高 等 学 校 卒 業 者		/	11 年 以上			
	上 記 以 外 の 者 そ の 他 の 者		13 年以上				
一 般 試 験 免 除 申 請 を 行 い、 応 用 試 験 の み で 受 験 す る 者		⑤	平成 29 年度 の 1 級 一 般 試 験 に 合 格 し た 者	③	平成 29 年度 の 2 級 一 般 試 験 に 合 格 し た 者		

(1) 実務経験年数とは、日本国内で舗装工事の施工管理に従事した年数をいい、平成 30 年 3 月 31 日現在で算定して下さい。

(2) 指定学科とは、土木、農業土木、森林土木、鉱山土木、砂防、治山、都市、衛生、交通、建築、緑地、造園に関する学科をいいます。

- (3) 必要年数欄の( )内は、同欄の実務経験年数の内に含まれていなければならない指導監督の実務経験年数を示します。
- (4) 指導監督の実務経験とは、施工監督、工事主任、現場代理人、主任技術者等の立場で部下などを指示、指導または監督し、舗装工事の施工管理を行った経験をいいます。
- (5) 専任の主任技術者とは、「建設業法」において工事現場に専任で置かなければならないと定められている主任技術者のことをいいます。
- ※その他受験資格に関する詳細は、当協会のホームページの「受験の手引き」をご覧ください。

### 3. インターネットによる受験申込書作成について

協会ホームページの「インターネットによる受験申込書作成システム」を利用する場合、「受験申込書類」を購入頂かなくても、受験申込書類の作成・印刷および受験手引きのダウンロードができます。  
(システムは、当協会のホームページ「<http://www.dohkenkyo.or.jp>」に設置します。)

#### 《インターネットによる受験申込書作成システム》(受験申込書類購入無しで作成・印刷が可能)

##### ● システム設置期間：平成 30 年 1 月 9 日 (火) 10 : 00 ~ 2 月 23 日 (金) 17 : 00 まで

- ※本システムは、受験申込書類を作成するためのもので、インターネット上で受験申込が完了するものではありません。システムで作成・印刷した受験申込書類と証明写真、住民票などの必要書類を試験事務局に簡易書留で郵送し、2月23日(金)(消印有効)までに、受験申込を行って下さい。
- ※平成29年度の一般試験のみに合格し、平成30年度の一般試験免除を申請して応用試験のみで受験する方も、当協会からは受験申込書類を送付しません。一般試験から受験する方と同様に各自でご準備下さい。
- ※受験申込時には、証明写真(縦4.5cm×横3.5cm)と本籍地記載の住民票(コピー不可)が全員必要です。また、受験資格区分によって、卒業証明書(コピー不可)や合格証明書のコピーなどが必要になります。
- ※受験申込に必要な書類を揃えるのにある程度の期間を要しますので、受験申込書類はお早めに準備して下さい。

### 4. 受験申込書類の販売について

インターネット接続環境等を有しない受験者に対し、これまで同様、受験申込書類(1部600円)の販売も以下のとおり行います。

- (1) 販売期間：郵送販売は、平成30年1月9日(火)~2月14日(水) ※郵送販売は窓口販売より早く締め切ります。  
窓口販売は、平成30年1月12日(金)~2月23日(金)

#### (2) 郵送販売

郵送販売はすべて「代引」で行います。(代引とは、申し込んだ方が受験申込書類の受取りと引換えに購入代金を支払っていただく郵送システムです。現金書留での受付は致しません。)

- ①「郵送購入申込書(様式)」に必要事項を記入し、FAX または郵送して下さい(当協会本部の舗装施工管理技術者資格試験委員会事務局のみで受け付けます)。「郵送購入申込書(様式)」は当協会ホームページよりダウンロードできます。環境がない方は、事務局にも準備していますのでお問い合わせ下さい。
- ②費用：書類代金(1部600円)のほか、別途に下記郵送料(梱包材料費、手数料込)と代引手数料(1梱包あたり400円)がかかります。

##### 《郵送料(梱包材料費、手数料込み)》

部数	1部	2~3部	4~6部	7~10部	11~12部	13~19部
郵送料	320円	400円	450円	560円	660円	810円

※1つの梱包で最大19部まで送れます。

##### 《購入代金の例》

申込部数	購入費用			
	書類代金	郵送料	代引料	合計
1部	600円	320円	400円	1,320円
19部	600×19=11,400円	810円	400円	12,610円
30部	600×30=18,000円	810+660=1,470円	400×2=800円	20,270円

※速達を希望される場合は、1~12部の場合は320円、13~19部の場合は470円が別途必要です。

#### (3) 窓口販売の取扱所

窓口販売は、当協会本部事務局・支部・道路試験所および各地域づくり協会(関東、北陸、中部、九州)、近畿建設協会、中国建設弘済会、四国クリエイト協会、沖縄しまたて協会で行います。

詳細は、当協会ホームページ掲載の資格試験案内にある「窓口販売の取扱所」をご覧ください。

**平成 30 年度 舗装施工管理技術者資格試験 受験申込書類  
代引郵送 購入申込書 (F A X ・ 郵便申込み用)**

(一社) 日本道路建設業協会

舗装技術者資格試験委員会 事務局 行

F A X. 03-6280-5040

平成 30 年度舗装施工管理技術者資格試験の受験申込書類について、代引郵送による購入を下記のとおり申し込みます。

受験申込書類は、1 級と 2 級で異なりますので、必ずご確認ください。

速達を希望する場合 (別途、速達料金が必要) は、速達希望欄の (する) に○をして下さい。

郵送先は、昼間確実にお受取り、お支払いができる住所をご記入下さい。

購入部数	1 級	部	速達希望		
	2 級	部	する	しない	
	合 計	部	※速達を希望する方は、上欄の「する」に○をして下さい		
郵送先	会社名 ( 郵送先が会社の場合 ) のみ記入下さい。				
	氏 名	氏	名		
	〒				
	住 所	都・道			
		府・県			
電 話					
F A X					

## 窓口販売の取扱所

<受験申込書類は直接窓口でご購入下さい。こちらの取扱所では、郵送販売は行っていません>

(一社) 関東地域づくり協会		
本 部	さいたま市大宮区吉敷町4-262-16 マルキュービル9階	☎048-600-4131
東 事 務 所	千代田区神田東松下町45 神田金子ビル7階	☎03-3254-3190
水 戸 支 部	水戸市五軒町1-2-5 茨城いすゞビル5階	☎029-221-1963
宇 都 宮 支 部	宇都宮市南大通り1-1-18 小嶋ビル201	☎028-614-2628
高 崎 支 部	高崎市栄町4-11 原地所第2ビル1階	☎027-327-8554
千 葉 支 部	野田市宮崎101-8 古谷ビル2階	☎04-7125-2961
神 奈 川 支 部	横浜市神奈川区鶴屋町2-20-1 YTUビル4階	☎045-311-1401
長 野 支 部	長野市栗田950-1 東峯プレイス2階	☎026-227-2528
甲 府 支 部	甲府市丸の内2-12-6	☎055-226-2890
(一社) 北陸地域づくり協会		
本 部	新潟市江南区亀田工業団地2-3-4	☎025-381-1020
新 潟 支 所	新潟市中央区美咲町1-9-36	
長 岡 支 所	長岡市川崎町2249-1	
高 田 支 所	上越市大字寺字前新田525	
長 野 支 所	長野市松岡2-3-10	
松 本 支 所	松本市大字岡田町字下出口520-1	
富 山 支 所	富山市中市1-5-26	
金 沢 支 所	金沢市藤江南1-110	
(一社) 中部地域づくり協会		
本 部	名古屋市中区丸の内3-5-10 名古屋丸の内ビル8階	☎052-962-9086
静 岡 支 所	静岡市駿河区見瀬239-1 見瀬事務所1階	
浜 松 支 所	浜松市東区植松町267-20	
三 重 支 所	津市上浜町6-175	
岐 阜 支 所	岐阜市西荘2-4-15	
飯 田 支 所	飯田市上郷別府2168-1	
(一社) 近畿建設協会		
事 業 管 理 部	大阪市中央区大手前1-7-31 OMMビル地下1階	☎06-6947-0121
(一社) 中国建設弘済会		
本 部	広島市中区八丁堀15-10 セントラルビル4階	☎082-221-6461
(一社) 四国クリエイト協会		
本 部	高松市福岡町3-11-22 建設クリエイトビル	☎087-822-1657
(一社) 九州地域づくり協会		
本 局 売 店	福岡市博多区博多駅東2-10-7 福岡第2合同庁舎内	
福 岡 支 所	福津市中央6-3-30	
佐 賀 支 所	佐賀市鍋島2-13-21	
長 崎 支 所	諫早市久山台25-2	
熊 本 支 所	熊本市東区下南部3-2-5	
大 分 支 所	大分市羽屋752-1	
宮 崎 支 所	宮崎市松橋2-11-20	
鹿 児 島 支 所	鹿児島市薬師1-18-15	
大 隅 支 所	鹿児島県肝属郡肝付町新富1023-1	
(一社) 沖縄しまたて協会		
本 部	浦添市勢理客4-18-1 トヨタマイカーセンター4階	☎098-879-2097
北 部 支 所	名護市字伊差川24-1	☎0980-53-1555
(一社) 日本道路建設業協会		
北 海 道 支 部	札幌市中央区南2条西5-6 メゾン本府4階	☎011-222-1920
東 北 支 部	仙台市青葉区支倉町4-34 マルキンビル3階	☎022-264-1819
関 東 支 部	中央区八丁堀2-5-1 東京建設会館7階	☎03-3551-2903
北 陸 支 部	新潟市中央区天神1-12-8 LEXNB7F	☎025-278-7810
中 部 支 部	名古屋市中区錦3-7-9 太陽生命名古屋第2ビル8階	☎052-971-5310
関 西 支 部	大阪市中央区北浜東1-30 大阪建設会館5階	☎06-6941-2904
中 国 支 部	広島市中区本川町2-1-9 川本ビル6階	☎082-942-4396
四 国 支 部	高松市番町4-8-20 瀬尾ビル2階	☎087-861-6501
	*事前に電話で確認願います。	
九 州 支 部	福岡市博多区博多駅東2-6-23 博多駅前第2ビル8階	☎092-432-7731
沖 縄 支 部	那覇市東町16-9 大寛ビル2階	☎098-868-8830
道 路 試 験 所	八王子市東浅川町552	☎042-661-6529

## 郵送販売の取扱所

< 郵送販売は、下記のみで行っています。 >

(一社) 日本道路建設業協会 舗装施工管理技術者資格試験委員会 事務局

〒104-0032 東京都中央区八丁堀 2-5-1 東京建設会館 3階

TEL. 03-6280-5038 FAX. 03-6280-5040 URL <http://www.dohkenkyo.or.jp>

# 平成30年度 「舗装診断士」資格試験のご案内

一般社団法人 日本道路建設業協会

## 1. 舗装診断士資格とは

「舗装の診断に関する一連の作業ができる高い専門知識を保有する技術者を認定する資格」であり、舗装の効率的な管理・更新に寄与するために、日本道路建設業協会が創設した民間資格です。なお、舗装の診断とは、既設舗装の調査・評価及び維持・修繕工法の選定・設計、補修計画策定の支援であり、また必要に応じてネットワークレベルでの補修計画策定支援も含めて行えるものとして位置づけています。

## 2. 試験の概要

試験日	平成30年6月24日(日) 「毎年6月第4日曜日」
試験地	札幌、仙台、東京、新潟、名古屋、大阪、広島、高松、福岡、那覇
受験手数料	16,500円(税込)、8,250円(記述試験のみ、税込)
申込受付期間	平成30年2月9日(金)～平成30年2月23日(金) 締切日の消印有効
合格発表日	平成30年10月24日(水) 午前10時頃

## 3. 受験資格

### (1) 業務経歴で受験される方

以下に示すいずれかの資格保有者で7年以上の舗装関連業務(計画、調査、設計、監理・監督、工事、試験、評価、技術開発等)の業務経歴があり、さらにその中で、舗装の計画、調査、評価に関する1年(または3件:期間は問わない)以上の実務経験があることを受験資格とします。

なお、舗装の工事等において、補修工事の施工前調査(機器を用いた調査の他、目視調査も含む)、舗装の調査・診断により補修工法提案を行った業務や、補修工事の実施段階で調査等の提案・実施を行い設計変更された業務などは実務経験として取り扱い、また、これらに類する業務(新設・改築も含む)も同様とします。(実務経験は、原則、公印をお持ちの受験者の上長に証明頂きます。)

#### 【必要保有資格】

- ① 1級舗装施工管理技術者
- ② 技術士(部門:建設部門)
- ③ 特別上級・上級等土木学会認定資格
- ④ RCCM

なお、②～④の資格については、  
2級舗装施工管理技術者資格を  
有している者。

のいずれかの資格を保有していること。

※1級・2級舗装施工管理技術者は、資格登録者であって、失効者、未登録者は、必要保有資格には該当しない。

※業務経歴、実務経験は、平成30年3月31日現在で算定する。

### (2) 択一試験に合格され記述試験のみで受験される方

平成29年度に択一試験に合格され、平成30年に択一試験免除申請を行い、記述試験のみで受験される方も、業務経歴で受験される方と同様に受験申込書類を作成し、簡易書留郵便で受験申込をして下さい。

## 4. 試験の内容と試験時間

試験は、択一式(マークシート方式:3時間)及び記述式(経験記述と専門記述:3時間)で実施します。

- a. 択一試験:舗装に関する基礎知識、舗装の管理、点検・評価、補修の計画・設計、補修工事に関する知識及び技術者倫理等の項目から出題。
- b. 経験記述:業務経歴から1業務を選定し、業務の概要、その中で果たした役割、技術的問題点や課題と解決策、その評価等を簡潔に記述する形式。
- c. 専門記述:舗装の破損の写真、当該箇所の交通量、地域・気象条件、地形等の条件等から、推定される破損原因と根拠、実施すべき調査・試験、補修方法等を記述する形式や、道路建設時のデータ、供用年数、交通量のデータ等から破損の状況等を掴む形式等

なお、出題の項目、舗装診断士の知識として要求される概略の事項を次表に示します。

表-舗装診断士試験 出題項目

分類	項目	舗装診断士の知識として要求される事項等
基礎知識	①舗装技術の変遷	舗装技術(新設、補修)の変遷 補修(維持・修繕)の意義と必要性
舗装の管理	①アセットマネジメント	社会資本としての道路整備に関する基本的知識 アセットマネジメントによる補修の効率化
	②舗装マネジメントシステム	舗装マネジメント手法に関する知識
点検・評価	①舗装性能とその評価	舗装に要求される性能、舗装構造の評価に関する基本的知識
	②舗装の点検・調査技術	舗装の点検・調査・解析技術に関する知識とその適用
	③評価判定	舗装の破損及び変状の評価・判定能力 (材料、製造、施工、気象、供用条件等)
	④安全・環境管理	現場調査・試験時の安全・環境管理対策
補修の 計画・設計	①要求性能の設定	考慮すべき事項と舗装の性能指標
	②路面・構造設計	路面設計の定義と路面設計手法 舗装の材料設計及び構造設計に関する総合的な知識 設計が舗装性能(力学特性・挙動)に及ぼす影響 橋面舗装の特殊性
	③排水設計	土工部の排水対策 橋面舗装の排水対策
	④維持・修繕工法	舗装の維持工法に関する総合的な知識 維持工法が舗装性能に及ぼす影響 舗装の修繕工法に関する総合的な知識 修繕工法が舗装性能に及ぼす影響
補修工事に 関する知識	①使用材料	材料特性が舗装性能に及ぼす影響 舗装材料の製造・運搬に関する総合的な知識 製造や運搬が舗装性能に及ぼす影響
	②施工方法	舗装全般の施工に関する総合的な知識 施工方法が舗装性能に及ぼす影響 性能の確認・検査及び工事記録
	③安全・環境対策	維持・修繕工事における安全・環境管理対策
倫理	①技術者倫理	舗装診断を行う技術者としての適正な倫理観

## 5. 受験申込書について

当協会ホームページ「<http://www.dohkenkyo.or.jp>」上に、受験申込書類の作成・印刷及び受験の手引きがダウンロードできるシステム「舗装診断士 受験申込書作成システム」を設置します。

受験を希望される方(記述試験のみで受験される方も含む)は、本システムで受験申込書類を作成・印刷し、受験申込書類と証明写真、住民票等の必要書類を試験事務局に簡易書留で郵送することによって受験申込の受付が完了します。

なお、舗装診断士資格試験では、紙による「受験申込書類」の販売は行いません。

### 【舗装診断士 受験申込書作成システム】

●システム設置期間:平成 30 年1月 9 日(火)10:00~2月 23 日(金)17:00 まで

※本システムは、受験申込書類を作成するためのもので、インターネット上で受験申込が完了するものではありません。システムで作成・印刷した受験申込書類と証明写真、住民票等の必要書類を試験事務局まで必ず簡易書留で郵送し、2月 23 日(金)(消印有効)までに、受験申込を行って下さい。